**ＰＣＢ含有電気機器の保有に関する調査票**

**使用中の電気設備については、接触等により感電の恐れがあり非常に危険ですので、調査のために設備に近づかないでください。**

**銘板の記載内容など、お手元にある書類により確認できる範囲で調査してください。**

**また、調査にあたっては、電気設備を管理している電気主任技術者又は管理会社に**

**必ずご相談ください。**

調査票の記入にあたっては、別紙「ＰＣＢ使用・不使用の判別方法」を参考にしてください。

**記入者情報（記入者情報をご記入ください。）**

**記入内容について問い合わせさせていただくことがありますので、必ず連絡先（記入者氏名、電話番号）を記入してください。**

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **★調査Ｎｏ．** |  |  |  |  |  |  | **★宛名ラベル右下に記載の調査Ｎｏ．を**  **ご記入ください** | |
| **記入年月日** | **平成　　　年　　　月　　　日　（　　　）** | | | | | | | |
| **事業所名** |  | | | | | | | |
| **事業所住所** | **〒** | | | | | | | |
|  | | | | | | | |
| **記入者氏名** |  | | | | | | **電話番号** | **－　　　 　－** |

**回答期限：平成２８年１月２９日（金）**

**ＰＣＢ廃棄物特別措置法に基づく届出の有無**

ＰＣＢ廃棄物特別措置法に基づき、都道府県市に対しPCB含有電気機器の保管状況について届出をされている場合は「あり」に、届出をされていない場合は「なし」に、○印をつけてください。

|  |  |
| --- | --- |
| **ＰＣＢ廃棄物特別措置法の届出の有無** | **（　あり　・　なし　）** |

**【お問い合わせ窓口】**

**株式会社エヌ・ティ・ティマーケティングアクト**

**東海支店　松阪コンタクトセンタ**

**ＴＥＬ：０５９８－２０－９０２９（受付時間 ９時～１７時３０分（平日のみ））**

**（注）本調査は、三重県が株式会社エヌ・ティ・ティマーケティングアクトに委託して**

**実施しています**

**１．トランス、コンデンサ等の保有の有無**

① 使用中または使用を終えて保管しているトランス、コンデンサ等を保有していますか。

**●下の写真に示す電気機器がトランス、コンデンサです。**

**●その他、計器用変成器、リアクトル、放電コイル、電圧調整器、整流器、開閉器、遮断器及び中性点抵抗器はトランス類、避雷器（サージアブソーバー）はコンデンサ類としてください。**

保有している場合は「あり」に、保有していない場合は「なし」に、○印をつけてください。

|  |  |
| --- | --- |
| **トランス、コンデンサ等の有無** | **（　あり　・　なし　）** |
| **「あり」の場合、**次の「２」にお進みください。 | **「なし」の場合、**最終面の「５」にお進みください。 |

**２．使用を終えて保管しているトランス、コンデンサ等について**

① 使用を終えて保管しているトランス、コンデンサ等を保有していますか。

保有している場合は「あり」に、保有していない場合は「なし」に、○印をつけてください。

|  |  |
| --- | --- |
| **使用を終えて保管している**  **トランス、コンデンサ等の有無** | **（　あり　・　なし　）** |
| **「あり」の場合、**次の②にお進みください。 | **「なし」の場合、**「３」にお進みください。 |

② 使用を終えて保管しているトランス、コンデンサ等に高濃度ＰＣＢは使用されていますか。

別紙１「トランス・コンデンサの高濃度ＰＣＢ使用・不使用の判別方法」により判別してください。

各機器の製造年、型式情報から高濃度ＰＣＢが使用されていると判別された機器の台数を「あり」欄に

記入してください。

高濃度ＰＣＢが使用されていないと判別された機器の台数を「なし」欄に記入してください。

高濃度ＰＣＢの使用・不使用が確認できない機器については「不明」欄に台数を記入してください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **高濃度ＰＣＢの使用** | **機器の種類** | | **台　数** |
| **あり** | **トランス類** | | **台** |
| **コンデンサ類** | | **台** |
| **なし** | **トランス類** | | **台** |
| **コンデンサ類** | | **台** |
| **不明** | **トランス類** | | **台** |
| **コンデンサ類** | | **台** |
| 「３」にお進みください。 | |  | |

**最終面の「５」に**

**安定器の情報をご記入ください。**

**右頁面の「３」に**

**使用中のトランス、コンデンサ等の**

**情報をご記入ください。**

**３．使用中のトランス、コンデンサ等について**

① 使用中のトランス、コンデンサ等を保有していますか。

保有している場合は「あり」に、保有していない場合は「なし」に、○印をつけてください。

|  |  |
| --- | --- |
| **使用中のトランス、コンデンサ等の有無** | **（　あり　・　なし　）** |
| **「あり」の場合、**次の②にお進みください。 | **「なし」の場合、**「４」にお進みください。 |

**以下の「②」の項目は、使用中の機器に近づくと危険ですので、既に作成された書類により**

**確認できる範囲でお答えください。**

② 使用中のトランス、コンデンサ等に高濃度ＰＣＢは使用されていますか。

別紙１「トランス・コンデンサの高濃度ＰＣＢ使用・不使用の判別方法」により判別してください。

各機器の製造年、型式情報から高濃度ＰＣＢが使用されていると判別された機器の台数を「あり」欄に

記入してください。

高濃度ＰＣＢが使用されていないと判別された機器の台数を「なし」欄に記入してください。

高濃度ＰＣＢの使用・不使用が確認できない機器については「不明」欄に台数を記入してください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **高濃度ＰＣＢの使用** | **機器の種類** | | **台　数** |
| **あり** | **トランス類** | | **台** |
| **コンデンサ類** | | **台** |
| **なし** | **トランス類** | | **台** |
| **コンデンサ類** | | **台** |
| **不明** | **トランス類** | | **台** |
| **コンデンサ類** | | **台** |
| 「４」にお進みください。 | |  | |

**４．微量（低濃度）ＰＣＢについて**

（微量（低濃度）ＰＣＢについて情報を把握されている場合は御回答ください。把握されていない場合は「５」にお進みください。）

上記２と３については、「高濃度のＰＣＢが使用されているか否か」についての調査でしたが、高濃度ＰＣＢではない機器のうち、微量（低濃度）のＰＣＢを含む機器が存在する可能性があります。

保有しているトランス、コンデンサ等に微量（低濃度）ＰＣＢが含まれていることを把握している場合は、下記に種類や台数を記入してください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | **機器の種類** | **台　数** | **濃度（mg/kg）** |
| **保管中（廃棄物）** | **トランス類** | **台** |  |
| **コンデンサ類** | **台** |  |
| **使用中** | **トランス類** | **台** |  |
| **コンデンサ類** | **台** |  |
|  | |  | 「５」にお進みください。 |

**最終面の「５」に**

**安定器の情報をご記入ください。**

**５．使用を終えて保管している安定器について**

**●安定器は、照明器具の裏側に設置され、電灯のちらつきを安定させる装置のことで、蛍光灯安定器、ナトリウム灯安定器、水銀灯安定器などがあります。下の写真に示す電気機器が安定器です。**



① 使用を終えて保管しているPCB使用安定器は何台（又は何kg）ありますか。

PCB含有の有無が不明な場合には、別紙２「安定器のＰＣＢ使用・不使用の判別方法」により判別してください。

ＰＣＢ使用安定器を保管していない場合は、「０」（ゼロ）を記入してください。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **保管中の「ＰＣＢが使用された安定器」** | **台数　又は　重量** | | | |
| **台** | | **・** | **kg** |
| 「６」にお進みください。 | |  | | |

**６．ＰＣＢが含まれている安定器の使用について**

**●業務用・施設用の照明器具を使用している場合で、建物を建築した時期が昭和５２年（１９７７年）３月以前の場合は、照明器具の付属品である安定器にＰＣＢが含まれている可能性があります。**

① 事業所の建物を建築した時期は、昭和５２年（１９７７年）３月以前ですか。

|  |  |
| --- | --- |
| **事業所の建物を建築した時期は**  **昭和５２年（１９７７年）３月以前である。** | **（　はい　・　いいえ　）** |
| **「はい」の場合、**次の②にお進みください。 | **「いいえ」の場合、**設問終了です。 |

② PCBが含まれている安定器について、使用中のものがありますか。

PCB含有の有無が不明な場合には、別紙２「安定器のＰＣＢ使用・不使用の判別方法」により判別してください。

確認できない場合には、「不明」を選択してください。

|  |  |
| --- | --- |
| **PCBが含まれている安定器を使用している。** | **（　はい　・　いいえ　・不明　）** |
| 設問終了です。 | |

**調査終了です。ご協力ありがとうございました。**

ご送付いただいた調査票は返却いたしません。

|  |
| --- |
| **《 別紙１ 》** |

**トランス・コンデンサの高濃度ＰＣＢ使用・不使用の判別方法**

**使用中の電気設備については、接触等により感電の恐れがあり非常に危険ですので、調査のために設備に近づかないでください。**

**使用中の電気設備については、お手元にある書類により確認できる範囲で調査してください。**

**また、調査にあたっては、貴社の電気設備を管理している電気主任技術者又は管理会社に必ずご相談ください。**

**●下の写真に示す電気機器がトランス、コンデンサです。**

**●「トランス、コンデンサが高濃度のＰＣＢを使用しているか否か」については、お手元にある書類をもとに機器の製造年、型式が確認できる場合、右頁の「トランス・コンデンサ判別リスト」で判別ください。**

**●国内メーカーで昭和２７年（１９５２年）以前及び昭和４８年（１９７３年）以降に製造された機器については、高濃度のＰＣＢを使用した機器はありません。ただし、平成５年（１９９３年）頃までのトランス・コンデンサには、微量（低濃度）のＰＣＢを含む機器が存在するため、メーカーに確認又はＰＣＢ濃度分析を行う必要があります。**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **昭和27年 昭和28年 昭和47年 昭和48年** | | |
| **(1952年) (1953年) (1972年) (1973年)** | | |
| **ＰＣＢ使用無し** | **高濃度ＰＣＢ使用の可能性有** | **高濃度ＰＣＢ使用無し**  **（低濃度ＰＣＢは有り）** |

※この製造年別の判別は外国製など一部の機器については該当しない場合があります。

* **ＰＣＢの使用について、明確に判別できなかった場合は、『不明』としてください。**

****

**【トランス・コンデンサ判別リスト】**

|  |
| --- |
| **《 別紙２ 》** |

**安定器のＰＣＢ使用・不使用の判別方法**

**●下の写真に示す電気機器が安定器です。**

**　　**

**●「安定器がＰＣＢを使用しているか否か」については、銘板情報又はお手元にある書類をもとにメーカー、製造年、型式が確認できる場合、右頁の「安定器メーカー問合せ先リスト」に記載のメーカーに問い合わせてください。**

**●国内メーカーで昭和３１年（１９５６年）以前及び昭和４８年（１９７３年）以降に製造された安定器については、ＰＣＢを使用した安定器はありません。**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **昭和31年 昭和32年 昭和47年 昭和48年** | | |
| **(1956年) (1957年) (1972年) (1973年)** | | |
| **ＰＣＢ使用無し** | **ＰＣＢ使用の可能性有** | **ＰＣＢ使用無し** |

　　　　　　　　　※この製造年別の判別は外国製など一部の機器については該当しない場合があります。

**●昭和５２年（１９７７年）３月までに建築された建物については、ＰＣＢを使用した安定器がある可能性があります。**

* **ＰＣＢの使用について、明確に判別できなかった場合は、『不明』としてください。**

**【安定器メーカー問合せ先リスト】**

2013/5/27現在

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 会社名 | 問合せ先 | 電話番号 |
| 1 | 岩崎電気㈱  http://www.iwasaki.co.jp/ | CSセンター | 048-554-1124 |
| 2 | ㈱梅電社（スタ ー）  http://www.umedensha.co.jp/ | 大阪 | 06-6333-0004 |
| 東京 | 03-3944-1651 |
| 3 | NECライティング㈱  http://www.nelt.co.jp/ | お客様相談室 | 0120-52-3205 |
| 4 | オーデリック㈱  http://www.odelic.co.jp/ | カスタマーサービス | 03-3332-1123 |
| 5 | ㈱共進電機製作所 |  | 06-6309-2151 |
| 6 | 星和電機㈱  http://www.seiwa.co.jp/ | 品質保証部 | 0774-55-9318 |
| 7 | 大光電機㈱  http://www.lighting-daiko.co.jp/ | 品質保証部　CSセンター | 0729-65-3427 |
| 8 | ダイへン電設機器㈱ヘルメス機器工場  (旧：ヘルメス電機㈱)  http://www.shihen.co.jp/ | 四変テック㈱  電子機器事業部　品質管理部  (ﾍﾙﾒｽ電機、ﾀﾞｲﾍﾝﾍﾙﾒｽ事業部が製造した製品の対応) | 0877-33-2323 |
| 9 | 東芝ライテック㈱  http://www.tlt.co.jp/tlt/contact/pcb/pcb.htm | 器具事業部 施設・屋外照明部  施設商品担当 | 046-862-2092 |
| 10 | ㈱GSユアサ（旧：日本電池）  http://www.gs-yuasa.com.gyp/jp/ | お客様相談室 | 0120-43-1211 |
| 11 | ㈱光電器製作所 |  | 06-6962-2681 |
| 12 | 日立アプライアンス㈱(旧：日立照明㈱)  http://www.hitachi-ap.co.jp | 各営業所 | |
| 東北　　TEL：(022)283-7117　　　関西　TEL：(06)6448-6321 | |
| 茨城　　TEL：(029)231-7717　　　中国　TEL：(082)233-4381 | |
| 首都圏TEL：(03)3506-1455　　　九州　TEL：(092)281-3737 | |
| 中部　　TEL：(052)884-5831 | |
| 13 | 藤井電機工業㈱ |  | 0879-82-1403 |
| 14 | 扶桑電機工業㈱ |  | 03-3474-1200 |
| 15 | パナソニック㈱  （旧：松下電器産業㈱、旧：松下電工）  http://panasonic.co.jp/eco/pcb/ | パナソニック㈱ お客様相談センター | 0120-878-365 |
| 16 | パナソニック㈱（旧：三洋電機）  http://panasonic.co.jp/sanyo/environment/jp/ | パナソニック㈱ お客様相談センター | 0120-878-365 |
| 17 | 三菱電機照明㈱  http://www.mitsubishielectric.co.jp/group/mlf | 品質保証部サービス課 | 0467-41-2773 |
| 18 | 山田照明㈱ | 技術部 | 03-3253-5159 |
| 19 | ヤマト電気㈱ |  | 06-6757-0821 |
| 20 | ㈱リード |  | 0485-88-6465 |

※上記内容は連絡無しに変更になる場合があります、その場合はご容赦ください。